学校番号	1009

令和３年度　外国語科

教　科	科　目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語（英語）	コミュニケーション英語Ⅰ	３単位	１年次	New Edition Grove English Communication Ⅰ，TRY YOUR BEST 基本英文法

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、基礎的な語彙、文法、表現を軸に、それらを活かしたコミュニケーション力を身につけることが目標です。英語はコミュニケーションツールの一つですので、授業では、「積極的に話そうとする姿勢」や「相手のことを理解しようとする姿勢」、「英語を使おうとする姿勢」がとても重要になってきます。ペアワーク、グループワークを始め、授業に積極的に参加し、「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」の４つの力を伸ばしていきましょう。

・英語を使う力を伸ばすためには英語に触れる時間を多く設けることが非常に大切です。予習として、事前に単語や熟語の意味を調べたり、ターゲットの文法項目を確認したりしてください。また、復習として、授業で習ったことをしっかり見直して下さい。

・間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。取り組んで成功すれば自信につながります。間違えば大きな学びとなります。・アクセントやイントネーションなど発音を意識して発話することで相手への伝わりやすさが変わります。単語の発音や英文の音読練習、スピーキングの練習をたくさん行い、英語を話す力を身につけましょう。

２．学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】　　履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英文法」（２単位）
主な教材：上記科目の教科書・教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
●前もって準備した上で決まった表現や形式を用いて実物を示しながらそのものについて簡単な説明をすることが出来る。 ●決まった表現や形式を用いて、日時や場所について、質問したり答えたりすることが出来る。	発表 ペアワーク グループ活動 スピーチ	●簡単な語や基礎的な表現を用い、身近なことについて複数の文を書くことが出来る。 ●自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことが出来る。	定期考査 ワークシート ノート	●決まった表現でゆっくりはっきりと話された日常的に必要な事柄について、内容を理解することが出来る。 ●短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることが出来る。	ペアワーク ワークシート	●まとまりのある説明文や物語を正確に読み取り、理解することが出来る。 ●有名人物の伝記や歴史上の出来事についての英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することが出来る。	定期考査 小テスト ワークシート ノート

３．学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	・CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	・CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に、評価します。				

４．学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson1 (7 時間)	Omotenashi: The Spirit of Japan 日本の「おもてなし」の精神や由来、海外のおもてなしの方法を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・日本独自の「おもてなし」の文化とその由来について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・日本独自の「おもてなし」の文化とその由来について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・「おもてなし」の精神やその由来を理解する。 ・外国のおもてなしの方法を理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・「おもてなし」の精神やその由来を理解している。 ・外国のおもてなしの方法を理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		主部と述部、文型（「S+V」「S+V+C」「S+V+O」）、現在・過去・未来の表現について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	主部と述部、文型（「S+V」「S+V+C」「S+V+O」）、現在・過去・未来の表現について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。
Lesson2 (7 時間)	Why Is That So? 「なぜ時計は右回りなのか」などの３つの日常の疑問について学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・時計が右回りの理由、女性の服のボタンが左側にある理由、人が握手をするようになった理由について教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・時計が右回りの理由、女性の服のボタンが左側にある理由、人が握手をするようになった理由について教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・時計が右回りの理由、女性の服のボタンが左側にある理由、人が握手をするようになった理由について理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・時計が右回りの理由、女性の服のボタンが左側にある理由、人が握手をするようになった理由について理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・冠詞+(形容詞）+名詞、不定詞(名詞的用法)、動名詞について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・冠詞+(形容詞）+名詞、不定詞(名詞的用法)、動名詞について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson3 （7 時間）	The Bento Goes International 海外でも人気になりつつある弁当について、日米の昼食を比較しながら学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・日本とアメリカの昼食について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・日本とアメリカの昼食について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本の食文化の中で、弁当が担っている役割を理解する。 ・日米の昼食の違いを理解する。 ・アメリカで人気の弁当を理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・日本の食文化の中で、弁当が担っている役割を理解している。 ・日米の昼食の違いを理解している。 ・アメリカで人気の弁当を理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		進行形、文型（「S+V+O+O」「S+V+O+C」）について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	進行形、文型（「S+V+O+O」「S+V+O+C」）について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。
Lesson4 （7 時間）	Owen and Mzee: An Amazing Friendship カバの子どもとカメの間に生まれた奇跡の友情を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・オーエンとムゼイがどのように信頼関係を結んだかを教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・オーエンとムゼイがどのように信頼関係を結んだかを教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・カバが岩礁に残された理由と救出方法を理解する。 ・オーエンとムゼイがどのように信頼関係を結んだかを理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・カバが岩礁に残された理由と救出方法を理解している。 ・オーエンとムゼイがどのように信頼関係を結んだかを理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・完了形 、「S+V+O(=that 節)」について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・完了形 、「S+V+O(=that 節)」について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson5 （7 時間）	The Impossible Is Possible ノンフィクション作家の高野秀行氏が高校生に伝えたいことを学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・高野秀行氏が高校生に伝えたいことについて、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・高野秀行氏が高校生に伝えたいことについて、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・どのようにムベンベの捜索が行われたかについて理解する。 ・高野秀行氏が高校生に伝えたいことを理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・どのようにムベンベの捜索が行われたかについて理解している。 ・高野秀行氏が高校生に伝えたいことを理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞の形容詞的用法、不定詞(形容詞的用法)、受け身について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞の形容詞的用法、不定詞(形容詞的用法)、受け身について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。
Lesson6 （7 時間）	Eric Carle: How He Creates His Art エリック・カールさんの創作の秘密について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・エリック・カールさんの創作の秘密について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・エリック・カールさんの創作の秘密について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・絵本に小さな生き物が多く登場する理由を理解する。 ・創作する過程やアイディアがどこから生まれるかを理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・絵本に小さな生き物が多く登場する理由をしている。 ・創作する過程やアイディアがどこから生まれるかを理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞、不定詞：副詞的、関係代名詞 what について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞、不定詞：副詞的、関係代名詞 what について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson7 （7 時間）	The Netherlands -Living with Water オランダの水と共に生きる文化を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・オランダの人々の生活について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・オランダの人々の生活について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・江戸時代から続くオランダと日本の関係を理解する。 ・オランダの地形の特徴を理解する。 ・オランダの人々の生活について理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・江戸時代から続くオランダと日本の関係を理解している。 ・オランダの地形の特徴を理解している。 ・オランダの人々の生活について理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較、 It is+～（for～）+ to 不定詞、「S+V+O+to 不定詞」、S+V+O1+O2(=that 節)について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較、 It is+～（for～）+ to 不定詞、「S+V+O+to 不定詞」、S+V+O1+O2(=that 節)について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。
Lesson8 （7 時間）	Collective Intelligence 人間と生物の集合知についてそれぞれが持つ特徴を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・生物と人間の集合知の例について教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・生物と人間の集合知の例について教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・「集合知」とはどのようなものか理解する。 ・アリの集合知やハトの動きから何が作り出されたのかを学ぶ。 ・人間の集合知の例を理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・「集合知」とはどのようなものか理解している. ・アリの集合知やハトの動きから何が作り出されたのかを理解している。 ・人間の集合知の例を理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・「S+V+O(=疑問詞節など)」、「S+V+O+C(=現在分詞)」、「S+V+O+ C(=原形不定詞)」、It is+形容詞[名詞]+that 節について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・「S+V+O(=疑問詞節など)」、「S+V+O+C(=現在分詞)」、「S+V+O+ C(=原形不定詞)」、It is+形容詞[名詞]+that 節について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson9 (7 時間)	10 Billion 急速な人口増加が地球環境に与える影響とその解決策を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・急速な人口増加が地球環境に与える影響とその解決策について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・急速な人口増加が地球環境に与える影響とその解決策について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・世界の人口の推移とその影響について理解する。 ・現在起こっている問題とそれがもたらす影響について知り、解決策を理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・世界の人口の推移とその影響について理解している。 ・現在起こっている問題とそれがもたらす影響について知り、解決策を理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞を含む受け身、関係副詞、仮定法過去、現在完了進行形について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞を含む受け身、関係副詞、仮定法過去、現在完了進行形について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。
Lesson10 (7 時間)	One Child, One Teacher, One Book and One Pen マララ・ユスフザイさんが国連本部で行ったスピーチを通して、教育の在り方を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・積極的に音読活動に取り組むことができている。 ・ペアワークやグループワークに積極的に参加することができている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・新出単語、本文の音読活用、表現活動を通して、能動的な態度を養う。	・新出単語を音読しようとする意欲が見られる。 ・ペアワークやグループワークに協同的に取り組めている。 ・授業を能動的に受けることができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・マララさんが考える教育の在り方について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・マララさんが考える教育の在り方について、教科書のイラストと文章を用いて簡単な英語で説明することができる。	・自分自身の英語で表現することができている。 ・間違いを恐れずに英語で表現することができている。 ・相手に伝わる簡潔な表現を使うことができている。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・マララさんの演説を聞き，マララさんが指導者たちや政府に訴えかけようとしている内容を理解する。 ・マララさんに起こったことを理解する。 ・マララさんが考える最も強力な武器が何かを理解する。	・内容を理解し、その上で、本文の音読活動をしっかり行い、相手に伝わるように読むことが出来る。	・マララさんの演説を聞き，マララさんが指導者たちや政府に訴えかけようとしている内容を理解している。 ・マララさんに起こったことを理解している。 ・マララさんが考える最も強力な武器が何かを理解している。	・ペアワークやグループワークの取り組み、発言や授業態度を総合的に判断し、評価する。 ・ワークシートや授業ノートの提出・取り組み状況を総合的に判断し、評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞構文、「S+V+O1+O2(=疑問詞節など)」、強調構文、 仮定法過去完了について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞構文、「S+V+O1+O2(=疑問詞節など)」、強調構文、 仮定法過去完了について理解している。	・授業内の復習テスト及び定期考査において、知識が身についているかを判断する。 ・ワークシートの提出・取り組み状況を総合的に判断する。